



人類に
奉仕する
ロータリー

クラブ運営方針 「ロータリー 再認識！ 再発見！」

2016-2017年度

広島北 ロータリークラブ週報

Rotary
Club of Hiroshima North

2016年8月25日発行 Vol. 1483

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏
国際ロータリーテーマ

ROTARY SERVING HUMANITY
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

本日の例会

2016年8月25日(木)
第2282回

【オープン例会】

ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」
来客紹介 親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告
同好会報告
ニコニコ箱 ニコニコ委員会
卓話時間 「広島カープ 炎のストッパー
津田恒美物語」
演劇集団よろずや
主宰 寺田 夢酔 氏

新谷 欽史 会員(シンタニ キンジ)
株式会社 代表取締役社長
職業分類: 鮮魚仲卸
推薦者: 金井次郎会員・三保二郎会員
所属委員会: 親睦、社会奉仕
その他: 1969年3月生まれ



堤 大地 会員(ツミ ダイチ)
堤防水塗装工業(株) 代表取締役
職業分類: 建築防水工事
推薦者: 金井次郎会員・山下正司会員
所属委員会: 親睦、社会奉仕
その他: 1976年10月生まれ



前回の例会

2016年8月18日(木) 第2281回

【ガバナー公式訪問】

ロータリーソング 「われらの生業」
来客紹介 親睦委員会
入会式
連続出席表彰
会長時間
幹事報告
委員会
ニコニコ箱 ニコニコ委員会
卓話時間 「ガバナー公式訪問」
国際ロータリー第2710地区
ガバナー 田原 栄一 氏

連続出席表彰



左から、
8年 上田会員
20年 山下 江会員
8年 水野会員

おめでとうございます！



また、20年連続出席
の山下 江会員には、
クラブより記念品が贈
られました。

これからも連続出席を
続けてください！

入会式

本日、新会員2名の方の入会式が行われました。公式訪問というこ
ともあり、特別に田原ガバナーより会員バッジを着けて頂きました。



会長時間

会長 中山 昌実

本日は田原ガバナーを迎えての公式訪問です。田原ガバナー、藤
村副代表幹事、静川ガバナー補佐、澤田補佐幹事ようこそお越しく
ださいました。会員一同ご歓迎申し上げますと共に厚く御礼申し上げ
ます。田原ガバナーには後ほど卓話の時間及びフォーラムにて
いろいろとご指導頂けること楽しみにしております。どうぞよろしく
お願いいたします。

今月は「会員増強・新クラブ結成促進月間」です。田原ガバナーは
ガバナーズレターにおいて「会員増強はロータリアンの義務として

認識し、全会員で取り組むことが効果的である。」と述べられております。わがクラブでは山坂会員増強委員長を中心として全会員で会員増強に取り組んでおり、7月に6名、本日2名の新会員の入会により会員数94名となりました。また、本日1名の入会ゲストを迎え、新たな目標である会員100名も実現可能となつてまいりました。引き続きよろしくお願ひいたします。

さて、8月5・6日とわがクラブが2013年より支援しております「小さな祈りの影絵展」が元安橋東詰にて開催され、5日に青少年奉仕委員会メンバーと共に行ってきました。影絵展は日常の幸せを影絵で描き展示し、平和について考えようとする趣旨で、今年のテーマは「つなぐ」です。影絵の回りには大勢の人々が集まり、影絵に見入り写真を撮っていました。また高校生の説明は以前に比べ大変上手になっているように感じました。来年は是非多くの会員に見学に行っていたいただければと思います。

幹事報告 幹事 岡部 知之

- * 本日例会終了後にフォーラムを開催しますので、多数のご出席をお願い致します。
- * BOX配布物
公式訪問冊子
9月例会予定表

委員会報告

職業分類会員増強委員会 下川副委員長
* 次週8月25日(木)の例会をオープン例会です。ゲストを募集中です。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

ニコニコ箱 発表: 吉永征史会員

《ご来賓出宝》
田原ガバナー、藤村副代表幹事、静川ガバナー補佐、澤田AG幹事

《自主出宝》
中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員
田原ガバナー、藤村副代表幹事、静川ガバナー補佐、澤田ガバナー補佐幹事、本日は暑い中ご出席賜り誠にありがとうございます。卓話とフォーラムよろしくお願ひいたします。

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員
新谷さん、堤さん、ご入会おめでとうございます。心より歓迎いたします。

合田会員・島本会員・濱本会員 8月5日金曜日、青少年奉仕委員会の事業「小さな祈りの影絵展」にご参加を頂きました皆様方、大変ありがとうございました。感謝を申し上げます。

山本(忠)会員・福田会員・中尾会員 田原ガバナー、藤村副代表幹事、静川AG、澤田AG幹事、当クラブ公式訪問ありがとうございます。本日の例会が素晴らしい会になりますこと楽しみです。来年のガバナー杯野球大会もよろしくお願ひ致します。

高原会員 恩師である田原榮一ガバナー、本日は当クラブにおいて頂きまして心より歓迎します。ありがとうございました。

山下(正)会員・金井会員 堤 大地さん、入会おめでとうございます。北RCの仲間として改めてよろしくお願ひします。

久保(豊)会員・岡田(昌)会員 堤さんご入会おめでとうございます。三保会員・金井会員 新谷欽史さん、入会おめでとうございます。北RCの仲間として改めてよろしくお願ひします。

福田会員★ 今年8月を以て、満87歳となり、多数の会員諸兄により、私の米寿を祝う会を催して頂き、誠にありがとうございました。お役に立たない年齢ですが、諸兄のご指導を賜りながら楽しく生きていきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。

藤田会員・樽本会員 8月4日に開催されました福田会員の米寿のお祝いの会におきましては、多数の皆様にご参加頂き、本当にありがとうございました。お陰様で盛大に終える事ができました。

久永会員 昭和24年、第3回平和記念式典で一度鳴らされ、役目を終えていた2代目平和の鐘が、昨年に続き原爆の日に実行委員会によって鳴らされた。その時、原田会員のご尊父原田東岷氏作詞「世界の命＝広島心」が広島合唱同好会によって歌われた。この歌は原爆の劫火の中から苦痛をへて生れた新しい命が“平和を築く”聖なるエネルギーに……。海外公演でも歌われている由。私もこの場にめぐり合い新たな感動をうけました。

土井会員 誕生祝いを頂き、ありがとうございました。

迫会員◆◆ 職業奉仕委員長の迫です。今年度やっと出席できました。よろしくお願ひします。誕生日祝ひもありがとうございました。

上田会員 早いもので入会8年になりました。これからご指導よろしくお願ひします。

島本会員 オリンピックでの卓球日本の活躍がうれしくて出宝しました。

泉会員 8月の多打喜会にて優勝しました。アンダーと優勝で15枚し出宝します。

下前会員★◆ 多打喜会で準優勝。8アンダーが出ました。

※未読分

山下(江)会員 連続出席20年お祝いありがとうございました。これからも精進したいと思います。

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

当日計 85,000円 累計 361,000円

卓話時間

『公式訪問に寄せて』

国際ロータリー第2710地区
ガバナー 田原 榮一 氏



皆さん、こんにちは。
2016-17年度のガバナーを務めます田原榮一でございます。先ほど会長のご紹介、ありがとうございました。最初に、ロータリー財団100周年という記念すべき年に、ジョン・ジャーム RI 会長の下で

ガバナーの責務を果たすことを考えますと、身の引き締まる思いでございます。皆さま方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

先ほど会長・幹事会では、当クラブの歴史、そして青少年への奉仕活動等をお聞きし、大変感銘いたしました。さまざまな取り組みをやっておられ、私も勉強させていただきました。

私が尊敬する岩森茂パストガバナーを輩出され、今日ここに訪問させていただくことは、私にとって大変光栄でございます。これまで48年間、地域に根差した奉仕活動を、特にロータリー活動の中で、タイ小学校への支援とか、山本パスト会長が進められておりますがバナー杯野球大会など、取り組まれてきた当クラブに対して、心からの敬意を表したいと思ひます。また岩森先生には、3年間の戦略計画である、がん予防推進委員会のカウンセラーとしてご指導いただいております。この席を借りて厚く御礼申し上げます。

ガバナー公式訪問の主な目的は、会員意欲を高め、クラブをサポートすることでございます。そこで今日の私の卓話では、RI 会長ジョン・ジャーム氏のテーマ、強調事項と、私のガバナー信条、地区運営方針について、もう一度強調いたしますので、それらを当クラブで咀嚼(そしゃく)し、導入して、当クラブの発展に役立てていただければと存じます。

今日、卓話のあとは、すでにご案内のごとく四つの項目について

て皆さま方と協議し、非常にユニークなフォーラムシステムを先ほど会長から説明を受け、非常に面白いフォーラムのやり方だと、今まで 25 回クラブを訪問しておりますが、初めての経験で大変楽しみにしております。

さて、RI 会長ジョン・ジャームは、“Rotary Serving Humanity”「人類に奉仕するロータリー」を掲げました。これは非常にシンプルですが、私は1月のサンディエゴの国際会議場で感動いたしました。実は、多くのロータリアンから、「これは、我々が何をすべきかを示しており、人類への奉仕は人生最良の仕事である」と絶賛のメールが寄せられているのです。

彼は、「人類への奉仕はロータリーの礎であり、ロータリーの一員であることは、最初は小さな機会と思っても」、「ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会であり、さらに人類へのロータリー奉仕を通じて、より良い世界をつくる道である」と。

「ロータリーは今、岐路に立っています。来年度はホリオ撲滅の可能性があるので、今から準備をしておく必要があります。ホリオ撲滅に我々ロータリーが果たしてきた役割を、クラブを通じて地域社会に認知してもらい、ロータリーの入会こそが世界を変える方法であることを強調してください。そして、社会貢献への熱意を持つ職業人が集うロータリーの独自の力を生かせば、大きな目標を達成することができる」と、彼は述べています。

ロータリーの前進には、当然、会員増強が必要ですが、ただ単に数を増やすことではなくて、「将来リーダーとなる人を入会させなさい」と。「ロータリーの伝統を継続する名誉を与えられた私たちは、このような奉仕を行っていく責務がある」と、ジョン・ジャームは述べています。

また、ジョン・ジャーム RI 会長は、昨年度と同じく五つの強調事項を提言しておりますが、皆さんご存じのとおりですが、会員増強と維持、財団への寄付、オンラインツールの利用、新世代、そして公共イメージですが、それらの五つの強調事項にそれぞれ目標が掲げてありますので、その組み合わせが会長賞につながりますので、広島北 RC におかれましては、ぜひ会長賞にチャレンジしていただきたいと思っております。

加えて、ジョン・ジャーム RI 会長は、2016-17 年度、11 の目標を掲げました。私が今から挙げます地区運営方針と、ほとんど同じです。オーバーラップしますので省略させていただきたいと思っております。そこで、ジョン・ジャーム RI 会長のテーマを受け、私は、実は2年半前から考えていたわけです。全く合致したわけです。“Vocational service only brings about happiness and peace”、すなわち「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」というテーマを掲げたのです。その意図するところは二つあり、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがん予防の普及推進です。

前者の職業奉仕の実践強化には、今世紀に入り、我々の社会生活は目まぐるしく進歩いたしましたけれども、道徳観の倒錯によって、政治、経済、科学等のさまざまな分野で不祥事が起きております。それで、我々ロータリアンは、それらを防止するために何をすれば良いかです。そこで私は、職業奉仕の理念を実践するための二つの行動指針が必要と考えました。すなわち、一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法です。今日、2人の新入会員の方々に、そこにありますが、それをぜひ読んでいただきたい。それと、もう一つは「四つのテスト」の言行です。これら二つは、職業倫理の高揚と人格を向上させ、究極的には我々に幸せをもたらすからです。まさに、ポール・ハリスの言う「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和につながると考えます。

後者のがん予防の普及推進については、わが国が抱えている大きな社会問題、2025 年問題、皆さん、ご存じでしょうか。読売新聞の 8 月 15 日に 75 歳以上のがんという、私と一緒にがんを戦ってきました日本対がん協会の会長、垣添忠生先生が総説を 2 ページにわたって書かれています。これと全く同じことなので

す。2025 年になりますと、団塊世代が後期高齢者になるのです。ということは、あと 9 年後は一番上に 70 歳代がきて、完全な逆ピラミッドになるのです。そうすると何が起きるか。2025 年には、がん難民が大発生するのです。今、がんは 2 人に 1 人かかりますが、2025 年には 3 人に 2 人がかかる。そして、がん患者の約半分が 75 歳という、恐ろしい時代が来るわけです。

同時に、年寄りから血液が採れませんから、血液がだいぶ少なくなります。それから、看護師がだいぶ少なく、みとり場がなくなるということです。そこで今、厚生労働省が地域包括緩和ケアということを強調しているわけです。

そこで、この 2025 年問題に対して、我々ロータリアンが、一人一人が危機感を持って、ロータリーとして対策を立てる必要があると考えたのです。

それは、ロータリー戦略分野の重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を3年間の戦略計画として立ち上げ、地区奉仕プロジェクト委員会の中に、がん予防推進委員会を設置したのです。委員長は、今日、随行幹事として来ていただいている藤村教授にお願いしております。その目的は、ロータリアン自身および高齢者社会にニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」の実践を通じて、がんになっても安心して暮らせるよう、ここが重要なのです、自己責任に基づく健康管理を目指すものです。

その目的が二つあり、一つは我々大人の場合ですが、一人一人が、がん予防を生活習慣病として把握して、がんの一次予防、たばこをやめる、生活習慣を変える、これを一次予防といいます。そして二次予防、がんを早期に発見して早期治療する、これを二次予防といいます。によってもたらされる健康寿命の延長と、健康経営学をご存じでしょうか、すなわち企業従業員の健全な心と身体を戦略的につくり、もって健全な経営を維持することを推進することです。もう一つは、我々ロータリアンのドクターが職業スキルを生かして、青少年へのがん教育です。

私は、今日ここで強調したいのは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための組織づくりであり、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらにロータリーを将来担う若い人たちが健康に生きるために必要なことと考えたわけです。国際ロータリー第 2710 地区が、がん罹患率・がん死亡率が最も低く、がんになっても安心して暮らせる地区に、皆さん、頑張ろうではありませんか。

ここで、がん予防に関して、私のロータリーモメントをご披露申し上げたいと思っております。

昭和 16 年、肺結核症で父と私が枕を並べる闘病生活の末、父の死と引き換えに私は生き残りました。残された母と 5 歳の私は苦難の道を歩むことになりましたが、幸いなことに医学の道に進むことができました。そして今日、病理学者として 58 年間、がん予防一つに取り組み、得られた研究成果をがん医療の現場、すなわち、がんを診断するのは、ここにたくさんおられます臨床の先生ではありませんで、病理がするわけですが、その確定診断をするのに、私、遺伝子を加えた分子病理診断を実践しました。同時に多くの、10 名以上の教授の後継者を育成することができました。

また私は、先ほどご紹介にございましたように、昭和 56 年に広島中央 RC に入り、「四つのテスト」に感動したのです。そして、うれしいことに広島の財界、広島大学、広島県医師会、広島市医師会等の支援により、公益財団法人広島がんセミナーを設立することができたのです。以来、今日まで毎年、国際シンポジウム、がん予防のための県民公開講座、若い研究者への支援等の事業に取り組んできたのです。

このように今日まで、がんと闘う研究と事業に取り組んでこられたのは、真摯にがん向き合い、自分の生活の基盤となるロータリーの理念を実践した結果であり、もし私がロータリーに入会していな

かったら、自分の職業スキルを生かした人道的な奉仕活動を継続することはできなかつたと言っても、過言ではありません。まさに、ロータリーに感謝です。

ここで、ポール・ハリスの著書『ロータリーの理想と友愛』という、有名な本がありますが、の中で、「奉仕の理念の意味」の章においてポール・ハリスが最初に引用した、有名なトマス・カーライルの名言をご披露したいと思います。19世紀イギリスの有名な歴史家であるトマス・カーライルは、「一生懸命誠実に一つのことを成し遂げようとする努力、それは、この世の初めから人間を取り巻くあらゆる病や苦勞に対する偉大な療法である」と彼は述べています。

私の、先ほどのガバナー信条は、実はこのトマス・カーライルの名言に由来しているのです。

次に、八つの地区運営方針について説明させていただきます。まず1番は、永久にポリオ撲滅です。ポリオ撲滅まであと少しであり、2018年には、RIはポリオ撲滅宣言をする予定です。

1985年、ポリオプラスを開始しましたが、発症数は35万件から、今、10件以下になっています。しかし、まだパキスタンでは依然として野生ポリオが発生しています。皆さん、忘れてはならないのは、ポリオプラスを世界で提唱したのは、RIでもなければWHOでもないのです。実は日本人の2人のドクターなのです。それは、東京麹町RCの故山田・故峰、両ドクターがアフリカで最初に行ったのです。したがって私が申し上げたいのは、我々は誇りを持って、ポリオプラス基金の寄付のみならず、ポリオ撲滅のための募金活動を展開していただきたいということです。

2番目は、先ほど申しましたように、「ロータリアンの行動規範」の遵法です。「四つのテスト」と同様に例会での唱和を、ぜひ当クラブでも行っていただければと思います。この「ロータリアンの行動規範」は、特に新会員等には非常に大切なハイプルですので、立派なロータリアンにとって役立つものですので、唱和していただきたいと思っています。

3番目は、職業奉仕の行動指針である「四つのテスト」を、自分の職業生活のみならず、ローティアン日常の生活でも言行してやっていただく。また、青少年にも「四つのテスト」の実践を促すということです。

実は驚くことに、皆さんご存じ、RLI というのがございますが、「四つのテスト」をもうやっていないクラブが半分ぐらいあるのです。四つのテストもやっていない。ロータリーの会長時間もないというようなクラブがある。ちょっと考えられないクラブがありますね。

ぜひ、この「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」は、例会で唱和していただきたいと思っています。

4番目、当クラブはすでに設置されておりますが、ロータリー戦略計画の理解に努め、ロータリー戦略計画委員会を設置して、クラブ独自の戦略計画を立ち上げ、特に重点分野の活動に取り組んでいただきたいと思っています。

5番目が、会員維持・会員増強で、クラブでの戦略目標をつくり、クラブ、ローティアン一人一人が真剣に取り組む。先ほど会長から、会員を100名にすると。この会員増強は、当クラブで私が申し上げることはないと思っております。

6番目、重点分野の一つの「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を、職業奉仕、職業奉仕というのはいろいろな意見がございましょうが、私は38年間のローティアンの歴史として、ロータリーの職業奉仕というのは、ローティアンはいかに生きるかという生活姿勢であると考えています。したがって、がん予防も、それを把握して、ローティアン自身のみならず、家庭、職場、学校、地域社会で実践していただきたいと思っています。

先ほど申しましたように、タバコをやめることで、がんは30%減ります。食生活を改めることによって、30%がんは減ります。だから一次予防で、がんは半分ぐらい予防することができます。早期発見・早期治療によって、がんは治ります。これを二次予防といえます。そして我々ドクターが職業性を生かして、青少年に対す

るがん予防の教育です。

今日、一緒に来ていただいております静川ガバナー補佐におかれましては、地区がん予防推進委員会のコーディネーターとして活躍していただいております。大変うれしいことには、第2710地区は73クラブございますが、ほとんどのクラブが、がん予防委員会を設置して取り組んでくれると。うれしく思って、3年間ございますので、ぜひ当クラブでも実践していただけると。もうすでに当クラブでは岩森先生がおられまして、大変力強い限りでございます。

もう一つお願いしたいのは、ここでもう一つ申し上げたいのは、ロータリーとがん予防には共存共栄という共通の理念があります。すなわち「ロータリーとかけ、共存共栄と解く—その心は、利己と利他の調和」、これは2008-09年の諏訪昭登がガバナー。「がんとかけて、共存共栄と解く—その心は、長い自然史と予防の調和」、これは私です。がんになるには、10年から20年の長い歴史を持っています。40歳からがんが増えるということは、40歳になるまでの生活習慣が、がんになる条件をつくるということになります。したがって、青少年時代の生活習慣を変えることによって、がんは予防できますし、がんを早期に発見すれば、治療すれば、がんは完治します。20世紀は、がん＝死でしたが、今は治ります。完全に治ります。そして進行がんになっても、いいお薬がありますから共存共栄、多くの方々が、がん生存者で現在就労されています。

どうかお願いしたいのは、ガバナー月信の2号に藤村委員長が、がんとはどのようなものでしょうかと書いてございますので、『ガバナー月信』をごみ箱に捨てずに読んでいただいて、それを同僚、家族のほうに伝達していただきたいと思っています。『ロータリーの友』を捨てるローティアンもおられますけれども、それを捨てずに、『ロータリーの友』と『ガバナー月信』をファイルして、読解し続けて、一次予防・二次予防をもっと詳しく藤村先生が書かれますので、ぜひそれを読んでいただきたいと思っています。

7番目、ロータリーの公共イメージと認知度の向上に取り組もうとあります。それには、まずローティアンが、ロータリーとは何か、ロータリーは何をする団体か、ロータリーは何をしてきたのかということ、ローティアン自身が勉強していただくことが必要なのです。ですから私が言いたいのは、まずローティアン自身が十分ロータリーとは何かを理解して、公共イメージに取り組んでいただきたいと思っています。特に今日入られました2名の方々に、『ロータリーの友』の8月号に、非常に分かりやすくロータリーとは何かと書いてございますので、それをぜひ熟読していただければと思います。

最後にお願したいのは、先ほど山本ハスト会長にもお願いしましたが、あらゆる当クラブの事業に、ロータリー財団100周年とポリオ撲滅の冠を付けていただきたい。冒頭に申し上げました、今年ロータリー財団100周年でございますので、ぜひお願いしたいと思っています。

最後にもう一つ、第2710地区は平和推進地区でありますので、「ヒロシマの平和」の理念を発信していただきたい。5月27日、オバマ米国大統領が広島に歴史的な訪問をし、今、原爆資料館はものすごく多くの方々が見学されていますが、ぜひ皆さん方は、原爆資料館に行って見学しようということをお伝えしていただきたいと思っています。

結びに、ロータリー111年の歴史の変遷を見ますと、20世紀に確立された内なる奉仕—職業奉仕から、今世紀に入って外なる奉仕—グローバル化の奉仕へと変遷していると、私は痛感しております。しかし、ジョン・ジャームRI会長が「人類に奉仕するロータリー」というテーマを掲げ、「人類への奉仕はロータリーの礎であり、社会奉仕の熱意を持つ職業人が集うロータリーの独自の力を生かせば、大きな目的を達成できる」と強調しました。そこで私は、ガバナー信条として「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」を掲げましたが、その骨格は職業奉仕の実践強化とがん予防の推進であり、それは有名なユエナリスの「健全な精神は健全な肉体に宿る」

理念と同じです。

広島北ロータリーの皆さん方におかれましては、RI 会長テーマと私のガバナー信条を十分理解・咀嚼していただき、ロータリー財団 100周年をお互いに共有して、当クラブの大きな目標に向かってまい進され、見事にそれらを達成されんことを心から切に願って、私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

■出席報告 出席委員会

2016年8月18日(木) 会員数 94名
出席 77名 欠席 17名 (例会出席率 81.91%)
来賓 4名 ゲスト 1名
7月28日例会 修正後出席率 100%
7月度平均出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

田原 栄一 様(ガバナー)
藤村 欣吾 様(副代表幹事)
静川 周 様(グループ6ガバナー補佐)
澤田 英治 様(ガバナー補佐幹事)
川上 武 様(入会予定ゲスト)

■次回例会案内 2016年9月1日(木)

卓話 「新会員自己紹介」
福永誠一会員/古田裕三会員/西津真治会員
食事 洋食

ガバナー・会長幹事懇談会

例会に先立ち、【ガバナー・会長幹事懇談会】が開催され、クラブの活動や現状などがガバナーに説明し、アドバイスなどを頂戴しました。



公式訪問フォーラム

例会終了後のフォーラムでは、「今後の広島北RCが元気なクラブであり続けるための戦略」というテーマで、年代・ロータリー歴別に分けた各テーブルでディスカッションを行いました。ガバナー、副代表幹事、ガバナー補佐にもディスカッションに加わって頂き、活発な討議が行われました。



今日一枚
緊張の面持ちの新会員のお二人と、
なんだか笑顔?の推薦者。